

# グリーンボンド / グリーンボンド・プログラム 外部レビューフォーム

## セクション1. 基本情報

発行体名:	株式会社 西武ホールディングス
グリーンボンド又は フレームワークの名称	第5回無担保社債
外部レビュー者名:	株式会社 日本格付研究所
本フォーム記入日:	2021年6月9日
レビュー公表日:	2021年6月9日

## セクション 2. レビューの概要

### レビュー対象

本レビューでは、以下の要素について審査し、グリーンボンド原則との適合性を確認した。:

- |  |  |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 資金使途 | <input checked="" type="checkbox"/> プロジェクトの評価と選定プロセス |
| <input checked="" type="checkbox"/> 資金管理 | <input checked="" type="checkbox"/> レポーティング          |

### ROLE(S) OF Independent External REVIEW PROVIDER

- |                                    |  |
|------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> セカンドオピニオン | <input type="checkbox"/> 認証                    |
| <input type="checkbox"/> 検証        | <input checked="" type="checkbox"/> スコアリング/格付け |
| <input type="checkbox"/> その他:      |  |

注:複数のレビュー、異なる提供者がいる場合、レビューごとに個別のレビューフォームを提供してください。

## レビューのサマリー 及び 評価レポート全文へのURLリンク

株式会社西武ホールディングス（西武HD）は、西武グループを統括する純粋持株会社で、グループの再編を経て2006年2月に設立された。西武グループは、西武鉄道株式会社（西武鉄道）や株式会社プリンスホテル（プリンスホテル）を中核子会社に擁し、西武鉄道を中心として東京都北西部及び埼玉県西部を主たる事業エリアとする都市交通・沿線事業、国内最大級のホテルチェーンであるプリンスホテルを中心とするホテル・レジャー事業、都心部及び沿線拠点駅での賃貸施設展開を中心とする不動産事業などを展開している。

西武HDをはじめとする西武グループでは、2006年に「グループビジョン」を制定し、幅広い事業・サービスを通じて持続的な社会形成への課題対応を図り、社会と共に力強く成長していくことを目指している。西武グループでは持続可能な社会の実現に向けた取り組みを「サステナビリティアクション」と呼称し、グループ全社において積極的に取り組んでいる。また、社会課題・当社の事業環境等を踏まえて、特に取り組むべき4領域（安全、環境、社会、会社文化）、12アジェンダ（重要テーマ）を設定し、アジェンダに沿った取り組みを積極的に進めている。

今般の評価対象は、西武HDが発行を予定している普通社債（本社債）である。本社債の発行代わり金は、西武鉄道が調達する従来の運行車両よりも消費電力が少ない車両（001系「Laview（ラビュー）」、「40000系」）の購入資金のリファイナンスを用途としている。新造車両の導入により従来の車両よりエネルギー消費量がLaviewでは約7割、40000系では約6割削減され、1編成あたりのCO2排出削減効果はLaviewで約1,100t、40000系で約770tとなる見込みである。JCRでは、本グリーンボンドの資金使途が環境に与えるネガティブな影響についても調査・分析が行われ、必要な対策が行われていることを確認した。その結果、環境改善効果を上回るような深刻な環境への負の影響を及ぼす可能性はなく、CO2排出削減に資するグリーンプロジェクトであるとJCRは評価している。

管理運営透明性体制について、JCRは、西武HDにおいて本社債の資金使途となるグリーンプロジェクトの管理運営体制が確立されており、選定基準及び資金管理の内部統制態勢が適切に構築されていること、事前の投資家説明、発行後のレポートが適切に計画されていること、西武HDの経営陣が環境問題を重要度の高い優先的課題として位置づけていることを確認した。

以上より、本社債についてJCRグリーンファイナンス評価手法に基づき、「グリーン性評価（資金使途）」を“g1”、「管理・運営・透明性評価」を“m1”とした。この結果、「JCRグリーンボンド評価」を“Green 1”とした。

本社債はグリーンボンド原則 および環境省によるグリーンボンドガイドライン において求められる項目について基準を満たしていると考えられる。

評価レポート全文へのURLリンクは以下をご参照。  
<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

## セクション 3. レビューの詳細

レビュー者は、できる限り以下の情報を、コメントの枠を使用し、できる限り提供することが推奨される。

### 1. 資金使途

#### 本項目に係るコメント欄：

##### a. プロジェクトの環境改善効果について

- i. 資金使途の 100%が従来の運行車両よりも消費電力の少ない車両の新規調達費用のリファイナンスに充当される予定であり、CO2排出削減効果が期待される。
- ii. 資金使途の対象は、グリーンボンド原則または環境省のグリーンボンドガイドラインに定義されているグリーンプロジェクトのうち、「クリーン輸送」および「クリーンな運輸に関する事業」、に該当する。

##### b. 環境に対する負の影響について

西武HDでは、本プロジェクトを選定するにあたり、環境に与えるネガティブな影響の検討を行い、リスクがある場合には必要に応じ緩和策を講じることとしている。今回のグリーンプロジェクトについて、想定される環境社会リスクは以下の通りである。

・新型省エネ車両の導入

車両製造における有害物質の不適正な利用・管理

車両走行による騒音・振動・地盤沈下

廃車に伴い発生した有害物質の不適正な管理

西武HD及び西武鉄道は、車両製造において上記のような環境リスクは想定されないことを確認している。

以上から、JCRは、西武HDが想定されるリスクを洗い出し、必要な対応策を講じていると評価している。

#### GBPにおける資金使途の分類：

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 再生可能エネルギー   | <input type="checkbox"/> エネルギー効率                |
| <input type="checkbox"/> 汚染防止及び管理  | <input type="checkbox"/> 生物自然資源及び土地利用に係る環境持続型管理 |
| <input type="checkbox"/> 陸上及び水生生物の多様性の保全   | <input checked="" type="checkbox"/> クリーン輸送      |
| <input type="checkbox"/> 持続可能な水資源および廃水管理   | <input type="checkbox"/> 気候変動への対応               |
| <input type="checkbox"/> 高環境効率商品、環境適応商品、環境に配慮した生産技術及びプロセス  | <input type="checkbox"/> グリーンビルディング             |
| <input type="checkbox"/> 発行時点では明らかでなかったが、現時点においてGBP分類に該当することが予想される、または、まだGBP分類に含まれていないが適格グリーンプロジェクト分野と思われるもの | <input type="checkbox"/> その他                    |

GBP以外のタクソミー(プロジェクト分類)を使用している場合はそれを特定すること。:

## 2. プロジェクトの評価と選定プロセス

### 本項目に係るコメント欄:

西武HDは資金使途について、明確な環境面での目標、プロジェクトの選定基準およびプロセスを定めている。当該事項は、JCRによる評価レポートの中で開示されている。

### 評価と選定

- |   |  |
|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 発行体の環境面での持続可能性に係る目標が定められている                 | <input checked="" type="checkbox"/> 対象事業が選定基準分類に適合していることを決定するプロセスが文書化されている     |
| <input checked="" type="checkbox"/> グリーンボンドの資金使途としての適格プロジェクト基準が定義され、透明性が確保されている | <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施に伴うESGRリスクの可能性が特定され、管理されるプロセスが文書化されている |
| <input checked="" type="checkbox"/> 事業の評価と選定基準の概要が公表されている                       | <input type="checkbox"/> その他   |

### 責任及びアカウンタビリティに係る情報

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 評価・選定基準は外部からのアドバイスまたは検証を受けている | <input checked="" type="checkbox"/> 社内で評価している |
| <input type="checkbox"/> その他                           |   |

## 3. 調達資金の管理

### 本項目に係るコメント欄:

- a. 本社債の発行代わり金は、資金使途である対象設備のリファイナンスに速やかに全額が充当される予定であり、これ以外の目的に充当される予定はない。
- b. 西武HDが調達した資金は、プロジェクトの実施主体である子会社の西武鉄道に貸し付ける形となる。西武鉄道が社内の会計システムに登録されたデータ等を基にプロジェクトに係る支払いの金額および時期を管理し、財務部長の承認を得て西武HDに借入申請を行う予定である。その際には、西武HDと西武鉄道は各々が資金の充当状況を管理し、西武HDでは財務部担当執行役員に報告が行われる。
- c. 西武鉄道は、資金使途に対する総支出額を社内システムで管理し、事業年度ごとに監査・内部統制部による監査を受ける予定である。
- d. 調達資金は充当されるまでの間、現金または現金同等物で管理される。また、仮にグリーンボンド償還前に対象資産の売却・毀損等により未充当資金が発生した場合、他の適格基準を満たすプロジェクトに全額再充当されるまで、現金または現金同等物で管理予定である。
- 以上より、JCRは西武HDの資金管理は妥当であり、投資家に対する開示も十分であると評価している。

### 調達資金の追跡管理:

- |  |
|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> グリーンボンドの調達資金は分別管理され、または適切な方法で発行体によって追跡管理されている。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 未充当資金の一時的運用方法について、開示されている。                     |
| <input type="checkbox"/> その他   |

**追加開示事項:**

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 新規投資への充当のみ           | <input type="checkbox"/> 既存・新規投資両方への充当    |
| <input checked="" type="checkbox"/> 個別の支出に充当  | <input type="checkbox"/> ポートフォリオベースの支出に充当 |
| <input type="checkbox"/> 未充当資金のポートフォリオバランスを開示 | <input type="checkbox"/> その他              |

**4. レポーティング****本項目に係るコメント欄:****a. 資金の充当状況に係るレポーティング**

本社債の発行代わり金は、新型省エネ車両プロジェクトのリファイナンスに速やかに全額充当される予定である。なお、前述の通りグリーンボンドが償還されるまでに対象資産の売却等が行われ、再充当の必要がある場合は、売却資産に充当された調達資金の全額が他の適格基準を満たすプロジェクトに全額充当されるまで、年次で西武HDのウェブサイトが開示される予定である。

**b. 環境改善効果に係るレポーティング**

環境改善効果（輸送1kmあたりのCO2排出削減量（gCO2/km））について、西武HDのウェブサイト年次で開示予定である。

**資金使途のレポーティング:**

- |  |   |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 個別プロジェクト・ベース | <input type="checkbox"/> プロジェクトのポートフォリオ・ベース |
| <input type="checkbox"/> 個別債券への紐づけ               | <input type="checkbox"/> その他                |

**レポーティング情報:**

- |  |   |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 充当金額 | <input type="checkbox"/> 投資額に占めるグリーンボンドによる資金充当の割合 |
| <input type="checkbox"/> その他:            |   |

**頻度:**

- |  |                                |
|--|--------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 年に一度 | <input type="checkbox"/> 半年に一度 |
| <input type="checkbox"/> その他:            |                                |

**インパクトレポーティング:**

- |  |   |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 個別プロジェクト・ベース | <input type="checkbox"/> プロジェクトのポートフォリオ・ベース |
| <input type="checkbox"/> 個別債券への紐づけ               | <input type="checkbox"/> その他                |

**頻度:**

- |  |                                |
|--|--------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 年に一度 | <input type="checkbox"/> 半年に一度 |
| <input type="checkbox"/> その他:            |                                |

### レポート情報（理論値または実績値）：

- |   |                                   |
|---|-----------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> GHG 排出量 / 削減量 | <input type="checkbox"/> エネルギー削減量 |
| <input type="checkbox"/> 水使用削減量                   | <input type="checkbox"/> その他ESG指標 |

### 開示方法

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 財務諸表における公表          | <input type="checkbox"/> サステナビリティレポートにおける公表              |
| <input type="checkbox"/> アドホック（非定期）刊行物における公表 | <input checked="" type="checkbox"/> その他：<br>ウェブサイトにおける公表 |
| <input type="checkbox"/> レポートの外部レビュー         |  |

### 有用なリンク

西武HDのサステナビリティアクション	<a href="https://www.seibuholdings.co.jp/sustainability/">https://www.seibuholdings.co.jp/sustainability/</a>
JCRのグリーンファイナンス評価手法	<a href="https://www.jcr.co.jp/greenfinance/">https://www.jcr.co.jp/greenfinance/</a>

### 外部レビューを受けた場合、その種類

- |                                     |  |
|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> セカンド・オピニオン | <input type="checkbox"/> 認証                    |
| <input type="checkbox"/> 検証         | <input checked="" type="checkbox"/> スコアリング/格付け |
| <input type="checkbox"/> その他：       |  |

レビュー提供者： 株式会社 日本格付研究所

公表日： 2021年6月9日

## グリーンボンド原則に定められた、独立レビュー業者の役割

1. **セカンド・パーティ・オピニオン**：環境に関する専門知識を持ち、発行体から独立した機関は、セカンド・パーティ・オピニオンを出すことができる。そのような機関は、グリーンボンドフレームワークに関する発行体のアドバイザーからの独立性や、情報障壁など適切な手順を機関内に設け、セカンド・パーティ・オピニオンの独立性を保証することが必要である。セカンド・パーティ・オピニオンは通常グリーンボンド原則への準拠に関する評価を伴い、特に、発行体の包括的な目標、戦略、環境に関する持続可能性に関する方針および（または）プロセスおよび資金用途となるプロジェクトの環境に関する持続可能性の評価が含まれる。
2. **検証**：発行体は、ビジネスプロセスに関するおよび（または）環境基準についての設定された基準に関する第三者検証を受けることができる。検証は内部または外部基準または発行体による目標に沿っているかにフォーカスする。また、対象資産の環境に関する持続可能な特徴の評価は"検証"と呼ばれ、外部基準を参照することができる。発行体の資金管理、グリーンボンドによる調達資金の配分に関する内部追跡システム、環境へのインパクトまたは、グリーンボンド原則への準拠に関する保証または証明も"検証"と呼ぶことができる。
3. **認証**：発行体は、グリーンボンドフレームワークに関連したグリーンボンドまたは資金用途は、認識されている外部グリーン標準・ラベルの認証を受けることができる。標準またはラベルは、特定の基準を定義し、その定義は認証基準に沿っているかを証明できる能力を有し、認定された第三者機関によって、その基準に沿っているかどうかを検査される。
4. **グリーンボンドスコアリング・レーティング**：発行体は、グリーンボンドフレームワークに関連したグリーンボンドまたは資金用途は、スコアリング・レーティング手法を有している専門調査会社や格付機関といった第三者によって評価もしくは調査されることができる。成果物は、環境改善のデータ、グリーンボンド原則に準じたプロセスまたはその他2度目標などのベンチマークにフォーカスしたものが考えられる。スコアリング・レーティングは、重要な環境リスクを反映しているとしても信用格付とは明確に異なる。